
報時付掛時計 機械式14日巻き

取扱説明書番号 MO49-CXXX

○○○ 特長 ○○○

毎正時および30分ごとに時を告げます。

イタリア製の本体にドイツ・ヘルムレ社製の機械式ムーブメントを組み込みました。

お買い上げいただき、ありがとうございました。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
- この取扱説明書はお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

もくじ

1. ご使用上の注意	2
2. 各部の名称	4
3. 時計の使い方	5
4. 時間の進み・遅れの調節方法	9
5. 時計の掛け方について	10
6. おもな製品仕様	11
アフターサービスについて	裏表紙
お問い合わせについて	裏表紙

発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町 1-299-12
<http://www.rhythm.co.jp>

1. ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

 禁止	この表示は、してはいけない「 禁止 」内容です。
 強制	この表示は、必ず実行していただく「 強制 」内容です。

 警告	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

誤飲による事故防止について



付属部品（ねじなど）は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

ご使用場所のご注意について

下記のような場所では使わないでください。

機械やケース、精度不良や時計の寿命が短くなります。

- 温度が+ 50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が- 10℃以下になる所。
- ほこりが多く発生する所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まる場合があります。)
- テレビ・OA 機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる場合があります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 浴室など、湿気の多い所。サビや変色の発生原因になります。
- 温泉場など、ガスの発生する所。サビや変色の発生原因になります。
- 多くの油を使用する所。
(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- 直射日光や強い照明を浴びると、変色したり、退色が早まる場合があります。



禁止

お取り扱い上のご注意



注意

時計は精密機器です。また、外装部材にガラスなど衝撃に弱いものがありますので、落としたり、衝撃を与えないでください。故障の原因になります。また、破損した場合、人的・物的損害が発生するおそれがあります。

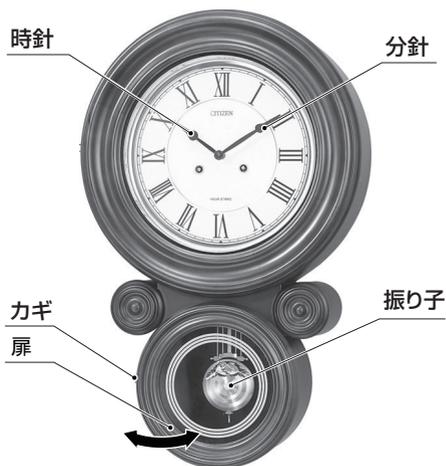
お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を長期間壁面に掛けた場合、静電気などにより壁面が汚れるおそれがありますので、定期的に汚れを落としてください。

2. 各部の名称

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



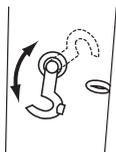
付属品

- 巻鍵
- 振り子
- 掛具（長い木ねじ）
- 振れ止めねじ（短い木ねじ）



注意

振り子などを取り扱うときや時刻合わせをするときは、素手で直接触れないでください。さびの発生原因になります。触れた場合は、清潔な乾いた柔らかい布で、拭き取ってください。移動などするときは、必ず振り子を取り外してください。移動の際、揺れてガラスなどに当たり破損の原因となります。



扉の開閉について

- カギ掛け金具を引き上げ、扉の開閉をしてください。

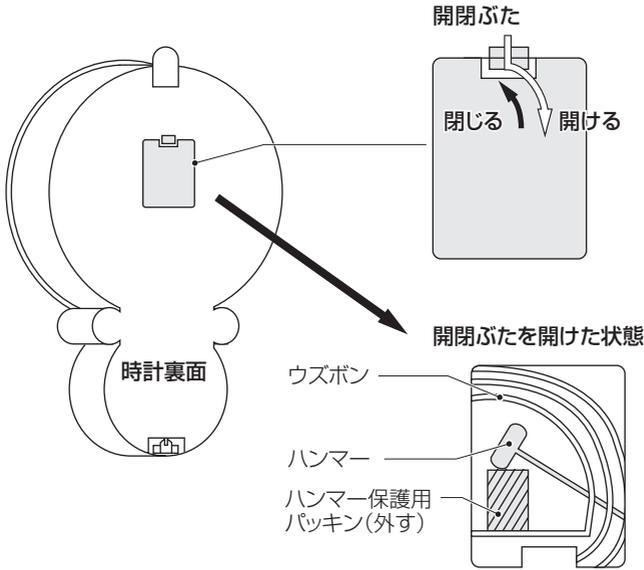
.....
輸送時など衝撃から保護するため、時計内部に緩衝物が入っていますので、設置するときに、丁寧に取り外してください。

.....
※時計を傾けて掛けたり、地震などの振動を受けると、振り子（時計）が止まる場合があります。

3. 時計の使い方

1 ハンマー保護用パッキンを外します

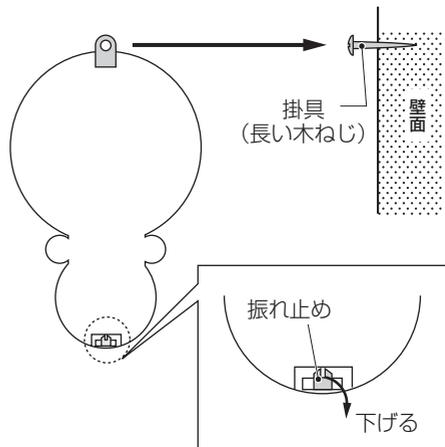
時計裏面の開閉ふたを開け、ハンマー保護用パッキンを取り外します。
その後、再び開閉ふたを取り付けます。



2 時計を掛けます

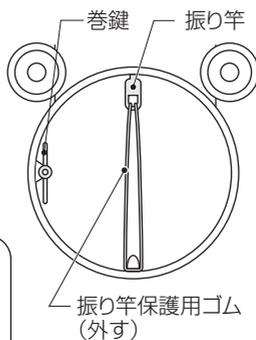
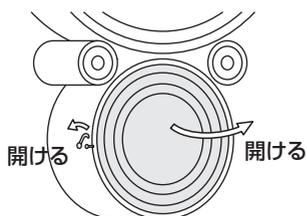
下側の振れ止めを出してから、
上側の壁掛け穴を掛具（長い木ねじ）に確実に掛けてください。

※「時計の掛け方について」
（P.10）を、必ずお読みください。



3 振り竿保護用のゴムを外します

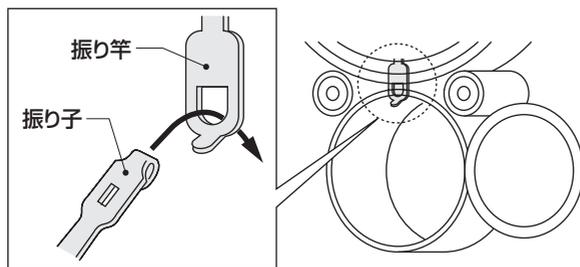
時計正面の下扉を開け、振り竿保護用ゴムを取り外します。



ハンマー保護用パッキンと振り竿保護用ゴムは、輸送時の衝撃から部品を保護するものです。
ご使用時には取り外し、輸送時には取り付けてください。

4 振り竿に振り子を掛けます

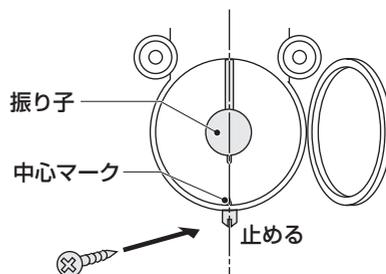
6時下の振り竿に振り子を正しく掛けてください。



5 振れ止めを固定します

扉を開けた時やゼンマイを巻く時に時計が傾くことを防止するため、振れ止めが付いています。

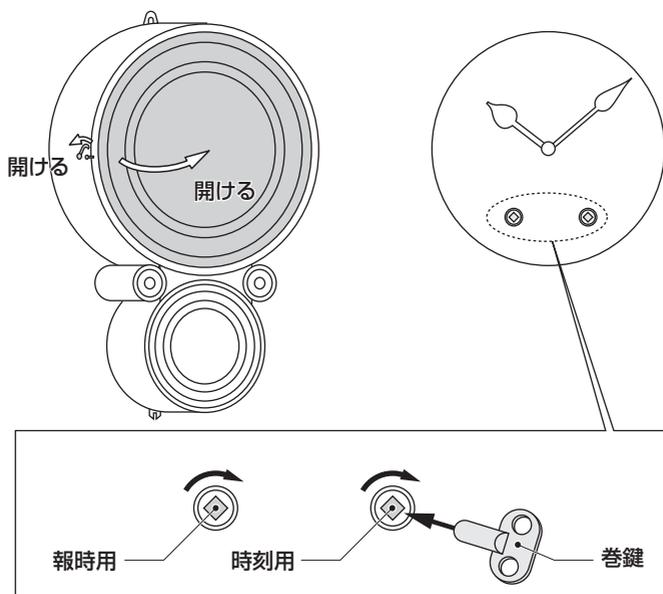
振り子と中心マークが垂直になっていることを確認し、時計下側の揺れ止めを、振れ止めねじ（短い木ねじ）で止め、扉を閉めます。



6 上扉を開けゼンマイを巻きます

時計正面の上扉を開け、文字板の4時側（時間用）と8時側（報時用）の2カ所の巻鍵穴に巻鍵を入れ、それぞれ右に巻き上げてください。

巻鍵は、下扉の中に納めてあります。



※巻鍵穴の上に針がある場合は、必ず分針（長い針）を回し（次項参照）、ずらしてから巻いてください。

※巻鍵は大切に保管してください。

※ゼンマイを一杯まで巻くと、約14日間作動します。2週間に1回、同じ曜日に巻くことをおすすめします。

報時について

毎正時には時刻の数を、30分には1回、ハンマーでウズボンを打ち報時します。

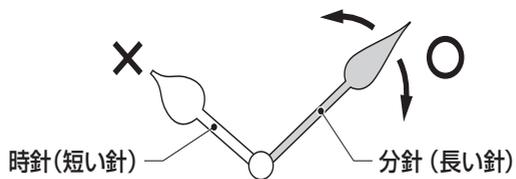
7 時刻を合わせ、振り子を振ります

分針（長い針）を回して、時刻を合わせます。

※時針（短い針）は、絶対に回さないでください。故障の原因となります。

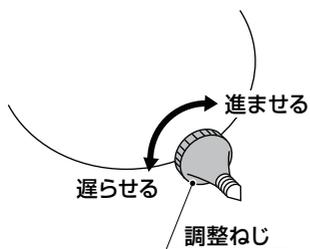
※分針（長い針）は、どちらに回してもかまいません。

※時刻合わせ後、最初の正時では、時刻の数と報時数が合わないことがあります。



時刻合わせが終わったら、振り子を振り、扉を閉めます。

4. 時間の進み・遅れの調整方法



振り子の周期により時間を刻むため、場所や気温により進み遅れが生じます。

調整は振り子の下にある調整ねじを回すことにより修正できます。

調整ねじを右に回すと進み、左に回すと遅れになります。

一回転で1日約50秒です。

5. 時計の掛け方について



強制

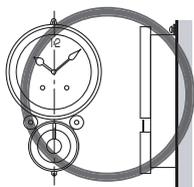


注意

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

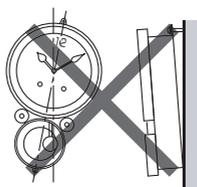
この時計は機械式ムーブメントが組み込まれています。時計は、下図のように必ず垂直になるように掛けてください。時計が傾いていると、時間精度が悪くなったり、止まることがあります。

良い例



垂直に掛ける

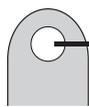
悪い例



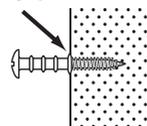
傾いている

- 付属の木ねじを使用できる壁面は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじを、下図の通り壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

木ねじをストッパーのところまでねじ込み、時計を掛けます。

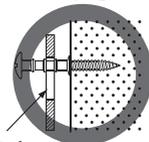


壁掛け穴



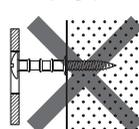
壁面

引っかかっている



壁掛け穴

引っかかっていない



- 石膏ボードやコンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

6. おもな製品仕様

ムーブメント	ドイツ・ヘルムレ&サン社製
駆動方式	ゼンマイ駆動（14日巻）
時間精度	平均日差 ± 60 秒以内（常温中）
報時精度	毎正時、30分の表示に対して ±30 秒以内
使用温度範囲	-10℃～+ 50℃（推奨範囲 + 5℃～+ 35℃）
その他	チャイムによる報時 毎正時：時刻の数だけ 30分：1回

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのおアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。

お買い上げの製品に関するお問い合わせに際しては、「4MJ006」とお伝えください。

お客様相談室 0120-557-005（フリーダイヤル）

受付時間 9：00～17：00（土日、祝日および当社休日を除く）